



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年12月26日（月）

問い合わせ先：岩槻区観光経済室

室長：礪貝

担当：光山、相良

電話：790-0118

岩槻駅東口周辺のトランスボックス（配電用地上機器）へ  
「人形のまち岩槻」に関連するラッピングで装飾します

岩槻駅東口周辺に設置されている歩道上のトランスボックス（配電用地上機器）6基を、「人形のまち岩槻」に関連するラッピングで装飾します。

「人形のまち岩槻」としてのにぎわいを創出するとともに、観光案内サインを含めて掲載することにより観光客の利便性及び回遊性の向上を目指して設置します。

1 設置日

令和4年12月26日（月）

2 設置場所（岩槻駅東口周辺）

岩槻区本町1丁目1番先外

※別紙参照

3 設置内容

「人形のまち岩槻」のラッピング 6基

4 ラッピング画像

<p>「岩槻のまちにおける人形作りの歴史」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、岩槻の人形作りの歴史をテーマにしています。左側には、武州(埼玉)をさむく匠名しの村々(岩槻、屈成郡)に伝承した江戸の雛を型、江戸町の人形作りが伝承されたこと、江戸時代には、雛や桐箱などの桐箱工が盛んで、加工の職種と出る大工を材料として人形作りが盛んになったと述べています。右側には、江戸時代から明治時代にかけて、岩槻の人形作りの歴史が紹介されています。また、江戸時代から明治時代にかけて、岩槻の人形作りの歴史が紹介されています。下部には、岩槻人形博物館(720m)と岩槻郷土資料館(640m)の位置が示されています。PT(30+70)と岩変 24の表示があります。</p>	<p>「人形関係のイベント」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、岩槻の人形関係のイベントを紹介しています。上部には「人形関係のイベント」のタイトルがあります。左側には「まちから観めぐり」のイベントが紹介されています。右側には「楽しむ」のイベントが紹介されています。下部には、岩槻人形博物館(640m)と岩槻郷土資料館(550m)の位置が示されています。岩変 21とLSの表示があります。</p>
<p>「人形の製作」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、人形の製作過程を紹介しています。上部には「人形の製作」のタイトルがあります。左側には「衣裳着人形」の製作過程が紹介されています。右側には「木目込人形」の製作過程が紹介されています。下部には、岩槻人形博物館(80m)と岩槻郷土資料館(910m)の位置が示されています。岩変 36とPT(30+80)Mの表示があります。</p>	<p>「衣裳着人形」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、衣裳着人形を紹介しています。上部には「衣裳着人形」のタイトルがあります。左側には、衣裳着人形の紹介があります。右側には、衣裳着人形の製作過程が紹介されています。下部には、岩槻人形博物館(540m)と岩槻郷土資料館(440m)の位置が示されています。岩変 9とHSの表示があります。</p>
<p>「木目込人形」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、木目込人形を紹介しています。上部には「木目込人形」のタイトルがあります。左側には、木目込人形の紹介があります。右側には、木目込人形の製作過程が紹介されています。下部には、岩槻人形博物館(570m)と岩槻郷土資料館(480m)の位置が示されています。岩変 34とLSの表示があります。</p>	<p>「岩槻人形博物館」のラッピング</p>  <p>このラッピングは、岩槻人形博物館を紹介しています。上部には「岩槻人形博物館」のタイトルがあります。左側には、博物館の外観が紹介されています。右側には、博物館の内部が紹介されています。下部には、岩槻郷土資料館(650m)と岩槻人形博物館(200m)の位置が示されています。岩変 5とLSの表示があります。</p>